

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	えがお住吉区店			公表日	2026年 2月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・基本は一階で療育を行っています、児童の人数や活動内容、特性に応じて二階を使用しています。 ・パーティションで部屋を区切り個室利用できるようにしています。	・集団活動をする中で狭いと感じる時がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・急な欠勤者が出て回る体制になっています。	・児童の人数によらず、送迎時の添乗職員がつけられるようになるとより良い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・絵カードやスケジュール表、タイムタイマー、ジョイントマットなどを用いた視覚化や、コーナーガードなどによる危険対策を行っています。 ・気付いたところから見える化できつつあると思う。	・2階に上がるスロープやエレベーターがないですが、建物の構造上対応が難しいです。 ・更に最適化を進めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・パーティションで部屋を区切ったり、二階を使用したりすることで、個室を作り使用することができています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・朝礼やカンファレンス、ワンオンワンで情報共有を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・保護者のニーズに合わせて個々の取り組み優先度を変えています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎月ワンオンワンをしたり、就業中にすぐに相談しやすい環境を作ったりし、朝礼での共有も行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		地域交流会などのを検討しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・内部研修を月1回実施している他、外部研修や資格研修を奨励しています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・パンフレット、ホームページで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・カンファレンスを実施し、職員間でニーズや療育内容の共有の徹底を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・個別支援計画の項目に沿って支援経過の記録を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・初期アセスメントと年度替わりの際に使用しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・カンファレンスや担当表などで支援方針を共有し、その中で日々の担当者毎に支援を行っています。 ・日々の支援内容や変化については朝礼で共有しています。	・チームで話し合うというより各々が考え調整している感じで、大まかな内容をチームで決めている。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・集団活動の担当を曜日ごとに分けるなど色んな目線での療育が実施できるように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・朝礼や共有ツールを用いて報連相を行い、役割分担の確認、連携を行っています。 ・	・打ち合わせがギリギリになってしまうことがあるため、余裕をもって行えるように工夫していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・当日に実施はできていませんが、翌日の朝礼では共有できるようにしています。	次の日の朝礼で共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・保護者や関係機関からの希望により、サポートブックの作成などを行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・利用開始時や進学・進級時を中心に連絡を取っており、トラブル発生時はすぐに連絡調整を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		・必要に応じて連絡を取っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			・区内に児童発達支援センターがないため、状況に応じて検討します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		・職員間の連携はあるものの、児童同士の交流の場を作れていないため、今後検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		・保護者に希望を取り、保護者会や保護者が参加できるイベントの開催ができないか検討中。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画の際の聞き取りを実施しています。 連絡ツールや電話などで都度すぐに対応できるようにしています。 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5		<ul style="list-style-type: none"> 検討中です。 保護者会を実施したいと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> SNSやホームページを利用し、毎週イベントの様子などを発信しています。 行事予定は手渡しで月1回配布しています。 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	3		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練実施時の地域への声掛けや近隣店舗に協力いただくイベントの実施などを行っています。 事業所の行事に協力してもらっています。 	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> アセスメント時に確認を行い、服薬者の表など対象者がいるものに関しては視覚化しています。 変更があった時は朝礼等で周知をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 表の更新が遅れないように意識していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットの報告書作成と共に都度内容を話し合い対策を講じています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		年に二回以上、研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				